

平成20年度 事業計画書

社団法人 日本アイソトープ協会

本年12月、公益法人制度改革3法が施行される。本協会としては、「公益活動を担う非営利法人の組織・運営の仕組みを透明化したうえで、活力のある社会を実現するために、公益法人制度を社会・経済システムの中に積極的に位置付ける」とする法の趣旨を尊重し、従来の組織からの転換を図る。

具体的には、「公益法人制度改革専門家会議報告書」(平成20年3月)の結論をふまえ、事業内容、運営組織を見直し、新公益社団法人に移行するべく、必要な準備を進める。さらに、役員改選を行い、新たな体制のもと財政基盤を強化するために経営改革を行うとともに、アイソトープの普及啓発、ならびに頒布から廃棄までを、安全に最大限配慮しつつ一貫して支える事業の更なる充実に努める。

調査研究事業においては、各部会による調査研究活動を通じて安全管理に留意したアイソトープ利用を推進するとともに、各種研修事業による人材の育成、出版事業による普及啓発に努める。特に安全管理については、放射線取扱主任者のための定期講習や新たに利用が開始されたアイソトープ内用療法に係る安全取扱講習会等を実施し、その徹底に努める。

アイソトープ事業については、使用者等からその利用に係る情報収集に努め、安全を確保し、製造業者等とも協力して安定供給に努め、利用促進を図る。国際情勢を考慮しつつ関係省庁に協力し、放射線源のセキュリティ対策を推進するなどして、もって放射線安全に寄与する。放射性医薬品については、昨年度、承認を受けた内用療法の推進を図りながら、SPECT、PETの核医学診療の普及に努める。アイソトープ研究施設の立地計画については、引き続きアイソトープ利用の変化に対応できる施設・設備の設計及び用地取得等を進める。アイソトープ廃棄物処理施設の整備等については、引き続き計画の具体化を進める。アイソトープ廃棄物処分については、実施主体となる予定の独立行政法人日本原子力研究開発機構に対し、情報提供を行う等、処分事業の推進に協力するとともに、処分の技術基準の策定、クリアランスの制度化などに向けて、積極的に関係機関と連携を図り実現に努める。

会員に関する事項

会員の拡大に努め、組織の充実強化を図る。

総会に関する事項

1. 第55回通常総会を開催し、次の議題等について審議する。
 - (1) 平成19年度事業報告書並びに決算書承認の件

- (2) 平成 20 年度事業計画書並びに予算書承認の件
- (3) 役員改選の件

2. 第 56 回臨時総会を開催し、次の議題等について審議する。

- (1) 新公益法人制度改革に伴う公益社団法人移行の件

役員会に関する事項

1. 第 141 回理事会

第 141 回理事会を開催し、次の議題等について審議する。

- (1) 平成 19 年度事業報告書（案）並びに決算書（案）の件
- (2) 次期役員候補者推薦の件
- (3) 特別会員推薦の件

2. 第 142 回理事会

第 142 回理事会を開催し、次の議題等について審議する。

- (1) 会長、副会長及び常務理事互選の件

3. 第 143 回（臨時）理事会

- (1) 新公益法人制度改革に伴う公益社団法人移行の件

4. 第 144 回理事会

- (1) 平成 21 年度事業計画書（案）並びに予算書（案）審議の件

5. 常任役員会

常任役員会を開催し、理事会決議事項の執行に関して、適正かつ円滑な事業運営を図る。

調査研究事業

1. 部会活動

(1) 理工学部会

理工学分野における利用促進

理工学分野におけるアイソトープ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。アイソトープ・放射線の利用促進を図るための新専門委員会の設置を検討する。

（常任委員会）

「放射線防護用設備・機器ガイド 2008/09 年版」の発行

放射線施設における放射線防護用設備・機器の適切な使用に資するため、「放射線防護用設備・機器ガイド 2008/09 年版」を発行する。

(放射線防護機器専門委員会)

超低レベル放射能測定技術の調査・検討

通常の放射線計測技術では測定が困難なあるいは検出が不可能な極微弱放射能の測定の重要性が増している現状を認識し、超低レベル放射能測定技術の発展と展望をさぐるための調査・検討を引き続き行う。

(超低レベル放射能測定専門委員会)

中性子イメージングに関する調査・検討

中性子ラジオグラフィの現状を認識し、その技術の発展と展望を探るために調査・検討を行う。また、中性子イメージングの最新技術についてまとめ、RADIOISOTOPES 誌に講座として掲載する準備を進める。

(中性子イメージング専門委員会)

講演会、見学会等の開催

R & I 講演会・見学会、サマースクール等を開催する。

アイソトープ・放射線実験の調査・検討

アイソトープ・放射線の教育・啓発のために、小・中・高の生徒や一般人を対象として行われているアイソトープ・放射線に関するいろいろな教育的実験を調査・検討し、Isotope News 誌に「RI・放射線一般向け教育実験ノート」として掲載する。

(一般向け教育実験ワーキンググループ)

(2) ライフサイエンス部会

ライフサイエンス分野における利用促進

ライフサイエンス分野におけるアイソトープ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。

(常任委員会)

部会活動活性化の推進

部会活動の見直しと活性化を図るための企画、立案を行う。(企画専門委員会)

アイソトープトレーサ研究用機器に関する検討

アイソトープをトレーサとして用いる研究用機器について、その原理、性能、特徴、適切な用途等の最新情報を収集し、公表する。

(アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会)

安定同位元素の利用の検討

安定同位元素の利用技術について調査研究する。（安定同位元素専門委員会）

薬学・薬理学分野のアイソトープ利用の検討

薬学・薬理学研究分野におけるアイソトープ・放射線の利用を促進するための検討を行う。（薬学・薬理学研究専門委員会）

獣医療における核医学利用の調査・検討

獣医核医学及び獣医放射線学教育の現状について調査し、日本における獣医核医学の推進について調査・研究する。（獣医核医学専門委員会）

食品照射についての調査・検討

食品照射に関する内外の情報を収集し、調査・研究する。（食品照射専門委員会）

講演会の開催

アイソトープ利用講演会、見学会等を開催する。

(3) 医学・薬学部会

医学・薬学分野における利用促進

医学・薬学分野におけるアイソトープ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。（常任委員会）

部会活動活性化の推進

部会活動の見直しと活性化を図るための企画、立案を行う。（企画専門委員会）

放射性医薬品の利用促進

放射性医薬品の利用促進と施設内の安全取扱いに関し、調査研究する。（放射性医薬品専門委員会）

副作用事例調査の実施

放射性医薬品の安全性確保に資するため、アンケートにより「第33回副作用事例アンケート調査」を実施し、結果を公表する。（放射性医薬品安全性専門委員会）

核医学イメージングの規格化及び核医学検査技術向上等に関する検討

核医学イメージング及び核医学検査技術の向上に資するため調査研究する。（核医学イメージング・検査技術専門委員会）

イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイの実施

イムノアッセイ検査の精度管理の向上に資するため、「第30回イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイ」を実施し、結果を公表する。

(インビトロテスト専門委員会)

ポジトロン放出超短半減期アイソトープの臨床利用の促進

ポジトロン放出超短半減期アイソトープの臨床利用を促進するための検討を行う。

(ポジトロン核医学利用専門委員会)

医療放射線管理に関する検討

医療放射線管理上の諸問題について調査研究する。

(医療放射線管理専門委員会)

放射線治療技術及び安全管理に関する検討

密封線源等による放射線治療技術及び安全管理について検討する。

(放射線治療専門委員会)

放射性医薬品の臨床評価に関する検討

放射性医薬品の開発を推進するため、放射性医薬品の臨床評価のためのガイドライン作成に向けた検討を行う。

(放射性医薬品の臨床評価専門委員会)

全国核医学診療実態調査の実施

核医学診療の実態調査の結果を「第6回全国核医学診療実態調査報告」として公表する。

(全国核医学診療実態調査専門委員会)

アイソトープ内用療法にかかるガイドライン等の策定

アイソトープを用いる内用療法を効果的に推進するため、医療安全の確保を図る適正使用のガイドライン等の作成に資する検討を行う。

(アイソトープ内用療法専門委員会)

講習会の開催

「高線量率ラルス医療安全取扱講習会」「ヨウ素 125 シード線源による前立腺癌永久挿入密封小線源治療の安全取扱講習会」「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム-89 治療安全取扱講習会」「イットリウム-90 標識抗 CD20 抗体を用いた放射線免疫療法の安全取扱講習会」等の講習会を開催する。

(4) 放射線取扱主任者部会

部会運営と支部間連絡調整

第 49 回部会総会を開催する。活動報告・活動計画の策定等を行い、部会委員会の運営・支部間の連絡調整を図る。 (本部運営委員会)

部会総会等の企画並びに組織規定の整備

部会総会、研修会について企画する。

協会の開催する放射線取扱主任者定期講習の開催運営に協力する。

部会活動をより円滑に行うため、運営諸規定の整備を図る。 (企画委員会)

情報の収集と広報

Isotope News「主任者コーナー」を充実させる。

部会員相互の交流を図るための広報活動を行う。 (広報委員会)

法令の課題の検討

法令について、主任者の立場から諸問題を検討する。 (法令検討委員会)

職種別・専門分野別分科会の設置・推進

職種別・専門分野別分科会及び研究会の設置・推進を図る。

主任者試験問題の解答例作成

主任者試験問題の解答例をまとめ、Isotope News「主任者コーナー」に掲載する。
(試験問題解答例作成委員会)

各支部において研修会、勉強会、法定の教育訓練講習会等を開催する。

アイソトープ事業所等からの依頼に基づき法定の教育訓練の講師を派遣する。

2. 研究発表会の開催

第 45 回アイソトープ・放射線研究発表会を開催する。

(アイソトープ・放射線研究発表会運営委員会)

3. 講習会の開催

(1) 下記の講習会を開催する

第 1 種放射線取扱主任者講習 [文部科学省登録資格講習]

第 3 種放射線取扱主任者講習 [文部科学省登録資格講習]

放射線取扱主任者定期講習 [文部科学省登録定期講習]

第 1 種作業環境測定士 (放射性物質) 講習 [厚生労働省登録講習]

アイソトープ基礎技術入門講習会

ラジオアイソトープ安全取扱講習会
密封線源安全取扱講習会
第1種主任者育成講習会
第2種主任者育成講習会
アイソトープ土曜講座
アイソトープ内用療法講習（仮称）

(2) 新規講習のあり方について検討をする。 (講習会企画委員会)

4. 図書等の編集、発行、頒布等

(1) 機関誌

Isotope News (広報誌) (Isotope News 編集委員会)
RADIOISOTOPES (学術誌) (RADIOISOTOPES 編集委員会)

(2) 出版物

(イ) 放射線管理及び放射線取扱主任者試験受験用各種図書等

医療放射線管理の実践マニュアル(改訂2版)
放射線取扱の基礎 - 第1種放射線取扱主任者試験の要点(6版)
密封線源の基礎 - 第2種・第3種放射線取扱主任者のために(5版)
第1種放射線取扱主任者試験 課目別問題集、他

(ロ) ICRP 勧告の翻訳図書

ICRP Publ.101 公衆の放射線防護のための標準人の被ばく線量評価 / 放射線防護
の最適化：プロセスの拡張(仮題)
ICRP Publ.103 新基本勧告、他

(出版企画委員会)

5. 普及啓発活動

RADIOISOTOPES 誌論文奨励賞表彰を実施する。

近年のアイソトープ利用の減少傾向に対処するため、昨年度に発足させた「新しいアイソトープの利用等に関する作業グループ」において、引き続きアイソトープ・放射線の利用促進のための検討を進める。

6. 試験研究所等

(1) 甲賀研究所

医療機器の放射線滅菌における線量設定に伴う微生物試験や検定照射を行う。
放射線照射利用に関する調査研究、微生物試験に関する研修活動及び普及活動を行う。

放射線による材質変化に関する情報収集並びに試験研究を行い、ユーザーに提供する。

医療機器、生薬、包装材料等の放射線滅菌及び高分子化合物の処理・加工等に関する照射の受託を行う。

将来の照射需要が見込める分野、例えば食品照射検知法について現状調査、情報収集を行うと共に微生物試験を利用した検知法を開発し、新規分野の開拓を行う。

(2) 仁科記念サイクロトロンセンター

ポジトロン核医学及びPIXE分析に関する全国共同利用を行い、研究成果を公表する。

PIXE分析の研究開発を行う。

(3) 武見記念館

アイソトープの利用及び核医学等に関する展示の一般公開を行う。

施設公開、施設見学の受入れにより協会事業の啓発を行う。

アイソトープ事業

1. アイソトープ（以下、アイソトープを「RI」と略す）

(1) RIの頒布

国内で利用される標識化合物、精製RI及び各種線源を輸入、加工、製造し、頒布する。製品の受注に際して使用者の法的要件を確認するなど、適正な利用を推進するとともに、使用者が満足できるようRI頒布における品質管理体制を確保する。また、使用者等から利用に係る情報収集に努め、製造業者等と協力し利用の促進及び安定供給を図る。

使用者から回収した使用済み密封線源の適正保管及び海外線源製造所等への返却を進める。

(2) RIの安全取扱・利用技術の向上及び普及

RI利用、取扱に関する相談に応じ、RIの安全取扱・利用技術の向上及び普及に資する。

計量法登録事業に基づく放射線量及び放射能標準を供給するとともに、放射線に係る各種校正・測定サービスを実施する。

輸送の安全性確保に資するため、RI輸送関係者を対象とした実務に則した教育訓練講習会及び輸送連絡会を開催する。

警察、消防等の関係者を対象に、RIに関する知識の普及・向上のための教育訓練に協力する。

(3) 安全性の向上とR I施設の維持管理

関係省庁に協力し、国際情勢を考慮して、放射線源のセキュリティ対策を推進するなど、国内の放射線安全に寄与する。

現有R I施設・設備を適切に維持・管理するとともに、新R I施設建設計画を推進する。

2. 放射性医薬品

(1) 放射性医薬品の頒布

全国の医療機関に対して放射性医薬品の安定供給に努める。受注に際しては使用者の法的要件を確認するなど、適正な利用を図る。

(2) 利用の促進

関係学会等への協力を通じて、核医学診療の普及に努め、放射性医薬品の利用に係る基盤拡大を図る。

核医学に関する講習会等の開催

アイソトープ内用療法に係る普及及び推進

医療法施行規則改正に基づいた「医療放射線管理の実践マニュアル」の改訂及び学会等における医療放射線の安全管理に関する啓発

PET 核医学の推進（PET 核医学分科会及び臨床PET 推進会議の運営サポート等）

獣医療法施行規則改正に伴う獣医核医学の実施のための放射線安全管理の整備

(3) 情報提供等

情報提供、法律相談を通じて使用者の便宜を図るとともに、放射線管理の向上及び適正利用を推進する。

医療R I通信

放射性医薬品流通統計

放射性医薬品一覧表（診療報酬点数、薬価基準の情報を含む）

電子メールまたはファックスによる緊急時一斉連絡

協会ホームページ及びR IOS-Net ホームページにおける医療関連情報の提供

放射性医薬品の輸送に係る教育・訓練の実施

R IOS-Net 利用者のための放射性医薬品管理システム

3. 環境整備

(1) R I廃棄物の集荷

R I使用施設等から発生するR I廃棄物の集荷を実施する。

(2) R I廃棄物の貯蔵

R I廃棄物を適切に管理するとともに、貯蔵施設の合理的な運用に努める。

(3) R I 廃棄物の処理

集荷し、貯蔵した R I 廃棄物は、医療 R I 廃棄物を滝沢研究所で処理する等、適切に処理する。

(4) 茅記念滝沢研究所

医療 R I 廃棄物を適切に貯蔵し、処理を行う。

医療 R I 廃棄物のクリアランス及び処分へ向けて、廃棄物の性状調査を行う。
土地の有効活用を図るため、新規誘致事業の調査・検討を行う。

(5) R I 廃棄物クリアランスの推進

R I 廃棄物のクリアランス制度化に向けて、継続的に委員会等で検討を行う。

(6) 処分の推進

処分実施主体となる独立行政法人日本原子力研究開発機構に対し、情報提供を行う等、処分事業の推進に協力する。

R I 施設の立地

本部 R I 研究施設の移転計画については、引き続き R I 利用の変化に対応できる施設・設備の設計及び用地取得等を進める。

また、R I 廃棄物の処理施設の整備については、引き続き用地の取得等、計画の具体化を進める。